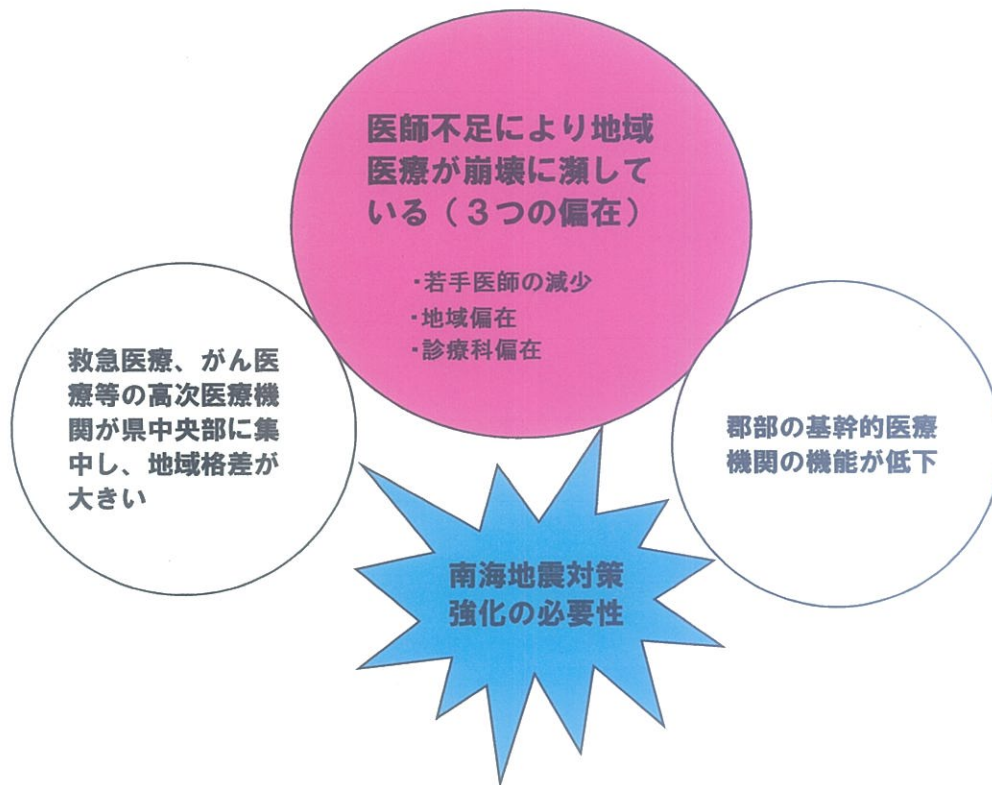


高知県地域医療再生計画の概要

1. 地域医療に関係する本県の特徴と課題

- ①東西に広がる広い県土と長い海岸線を有する
- ②県土の84%が森林で可住面積が少ない
- ③県土の多くを中山間地域が占める
- ④道路整備が大きく立ち遅れている
- ⑤人口の減少、高齢化が急速に進行
- ⑥中央部に多くの人口と医療機関(特に高度・専門医療を提供する医療機関)が一極集中
- ⑦医師不足(3つの偏在)により地域医療が崩壊に瀕している
 - * 若手医師の減少
 - * 地域偏在(中央部は増加するも、周辺部は全て減少)
 - * 診療科偏在(小児科、産婦人科、麻酔科の医師が減少。特に産婦人科の減少が著しい)
- ⑧30年以内に南海地震の発生する確率が60%



2. 課題の解決方策と実施事業

(1) 医師確保対策の推進

※3つの偏在の解消による医師の確保が不可欠。

⇒平成21年度策定地域医療再生計画による中長期的医師確保対策に加え、早期に医師を確保するための短期的な医師確保対策を実施。

【実施事業】

- * 県外医師情報収集強化事業
- * 医師派遣事業
- * 県外私立大学連携医師招聘事業
- * 県外赴任医師勧誘・支援事業
- * 海外児童精神科専門医招聘事業
- * 県立病院医師公舎建設事業



(2) 救急医療の確保・充実

※小児救急勤務医が減少し救急医療体制が崩壊に瀕している。

※遠距離救急搬送事例が多発。

※軽傷者を含めた多数の患者が特定の高度救急医療機関に集中。

⇒小児救急勤務医師を確保し、小児救急医療体制を維持する。

・救急搬送時の救急専門医によるリアルタイムのメディカルコントロール体制を構築し、救命率の向上と後遺障害の低減を実現する。

・初期救急医療体制を充実し、高次救急機関との役割分担を推進する。

【実施事業】

- * 小児救急勤務医師確保事業
- * ICT活用救急医療情報連携システム構築事業
- * 四万十市急患センター整備事業

(3) 災害医療の充実

※南海・東南海地震への医療救護体制の整備・充実と医療施設の耐久性の向上が不可欠。

⇒ヘリコプターを活用した患者搬送に必要な施設・設備を整備し、災害時の広域医療搬送を円滑、確実に実施する。

・医療施設の耐震化を促進し、入院患者等の安全を確保するとともに医療提供機能の維持・継続を図る。



【実施事業】

- * 広域医療搬送拠点施設設備整備事業
- * 災害拠点病院ヘリポート整備事業
- * 医療施設耐震化促進事業

(4) がん医療の充実

※がん診療連携拠点病院が県中央部のみに集中。

※がん診療連携拠点病院及び拠点病院を目指す病院の診断・治療機器の老朽化が進行。

⇒がん診療連携拠点病院及び拠点病院予定医療機関の診療等機器整備を支援し、高度がん医療提供体制の均てん化とレベルアップを図る。

【実施事業】

- * がん診療医療機関設備整備事業

(5) 周産期医療の充実

※低出生体重児の割合が高く、NICUに入室する新生児の数が多いため、現在のNICUの病床数(18床)では受入能力が不十分である。

⇒NICUを充実し、低出生体重児の受け入れ能力を高めることにより、新生児死亡や障害の発生を低減する。

【実施事業】

- * 周産期医療体制整備事業

(6) その他の課題と解決の方策

※慢性腎臓病(CKD)対策の充実

⇒CKDの早期発見及び、専門医と一般医の連携による患者の継続的フォロー体制を構築することにより、患者の症状悪化を防止する。

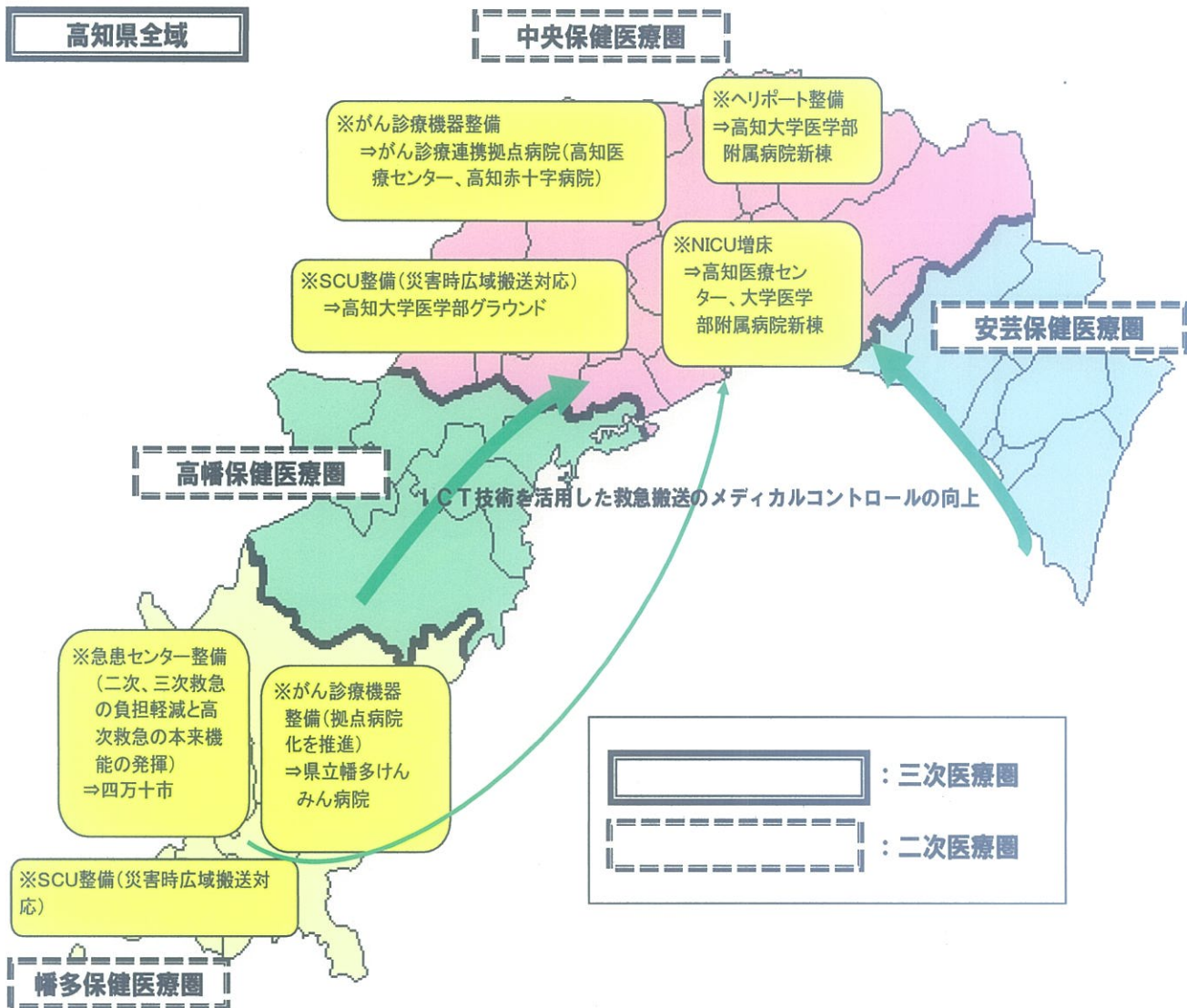
※医療施設近代化、耐震化の推進及び院内感染対策・入院患者に対する口腔ケアの向上 など

⇒必要な事業実施及び事業者に対する支援を実施する。

【実施事業】

- * 慢性腎臓病(CKD)対策推進プロジェクト
 - * 院内感染対策研修事業
- など

3. 地域医療再生計画に基づく主要な事業



県下全域の医師不足を克服

即効性が期待される短期的医師確保対策の推進

県外医師情報
収集強化事業

医師派遣事業

県外私立大学
連携医師招聘
事業

県外からの赴
任医師に対す
る勧誘・支援
事業

海外児童精神
科専門医招聘
事業

県立病院医師
公舎建設事業